

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org

皆さん、こんにちは。今月九日に東海地方も梅雨入り。体調を崩しやすい季節です。くれぐれもご自愛ください。

「改革」から「共生」へ

さて、今月から駐車違反の取締り方法が大きく変更されました。今までは警察だけが行っていた取締りを、民間の「駐車監視員」が警察から委託を受けて行うようになりました。

取締りが厳しくなるのではないかと予想から、違法駐車が減るといふ効果が出ています。その一方で、仕事で車を使う運送業者などへの配慮が足りないといった問題も指摘されています。

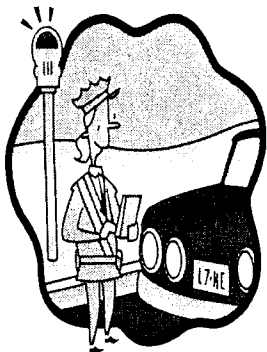
駐車違反取締りは交通安全を確保するための公(おおよけ)の仕事。これまではこの仕事をお役所警察が担ってききましたが、それを民間の企業や事業者の皆さんにお任せするというのは、二重の意味で良いことだと思います。ひとつは、犯罪の増加など

警察の仕事が増える一方で、財政難の折柄、警察官の数を十分に確保できない時代です。駐車違反取締りの仕事を民間の企業や事業者の皆さんに任せれば、その分、警察の人手を犯罪対策などに回せることになりやすくなります。もうひとつは、仕事を受けた民間企業や事業者の皆さんの収入につながるということ。警察の人手の確保と民間企業の収入増加。一挙両得かもしれません。

しかし、留意すべき点もたくさんあります。たとえば、収入増加を図るために駐車監視員が極端に厳しい対応をすること。これが冒頭でも指摘した運送事業者への配慮の問題です。そもそもこの仕事は、他の商売のように経済的な付加価値を生み出すものではありません。この仕事が繁盛しても、景気が良くなったり、経済が繁栄するわけではありません。みんなが駐車違反をしなければ、取締りの仕事をしている人手は他の商売などに振り向けることができます。国民の道徳心や公德心が大切

ということですね。いずれにしても、公の仕事をお役所任せにせず、民間も一緒になって対応する時代になりました。駐車違反取締りの民間解放はその象徴のような取り組みです。「官」と「民」が「共生」して公(おおよけ)を担い、財政負担を軽くして少しでも良い国をつくる。それがこれからの日本の大きな流れであることは間違いありません。

小沢さんの唱えている主張のひとつが「共生」の大切さ。なるほどという感じです。小沢さんの「改革」という言葉もだいたい浸透しましたが、これからは小沢さんの「共生」の意味もよく考えていきたいと思えます。僕なりに解釈すれば、社会を「共生」の方向に進める「改革」が必要ということでしょうか。一緒に考えれば幸いです。



虎山ソングブック

(タイトル文字は書家・山内美鳳さん<TEL: 782-1356>の作品)

—— 虎山近辺の名店を続々紹介します! ——

<今回は、「イヒ・テ・ラージャオ」さんです>

広小路通りから日泰寺参道を本堂に向けて進むと、右手に見えてくる中国雑貨屋さん、これが「イヒ・テ・ラージャオ」さんです。

まず気になるのがこのお店の名前。お店の方いわく、中国江西省の方言で、意味は「一緒に唐辛子を食べようよ」。ここに、「共に熱く生きていこう!」との願いを込めたのだそうです。

店内には、中国の藍染、当店オリジナルの中国風シャツなどもあります。やはり目を引くのは**ビーズ**です。多種多様なビーズがあり、付属品も用意されています。

「思ったよりはるかに簡単に、しかも安くアクセサリ作りが出来ますよ」とお店の方。自ら作業するもよし、お店に加工を依頼するもよし。皆様も、自分だけのアクセサリを創作しませんか?

イヒ・テ・ラージャオ: 052-761-3900

